

TWC ニュース (16号)

“筑波大学を歩こう”

秋のウォーキング開催

筑波大学ウエルネスクラブ恒例の第4回目となる秋の元気ウォーキングが、秋深まる晴天のもとに、19名の参加をもって開催されました。日頃ご指導をいただき、慣れ親しんでいる筑波大学キャンパスの探訪と道路ひとつ隔てた筑波実験植物園の散策を内容として企画されました。

定刻の10時には、全員集合し、準備運動・記念撮影をして、10:15 予定通りウォーキングを開始、さわやかな環境の中、思い思いの話題に花を咲かせながら歩くこと約1時間、キャンパスの一番北にある一の矢学生宿舎に隣接する農林技術センターに到着しました。

そこで、案内役の松田さんより、約40ヘクタールもあるという広大なセンター内を案内していただきました。筑波大学のこのセンターの特徴は、畜産から、水田、果樹から花卉、野菜と農業の広い範囲の実習・実験をカバーして研究をサポートしていること、融合領域の研究にも貢献しているとのこと。日頃なかなか見ることができなところを見学することができたことはたいへん参考になったとの声が聞かれました。

また、ここで取れた農産物の一般向け販売が次のスケジュールで行われており、時間の関係で、今回は買い物ができなかったが、これからはいきいき教室のあとで、ここに来て農産物や花を購入しようと思った参加者も多く見られました。



販売は毎週月、水、金の12:30より

(当日の12:00から整理券が配布され、順番に買い物をする)行われます。収穫直後の新鮮な野菜・果物や花など人気があるようです。(第1、第3水曜日には筑波大学病院でも、同様の販売をしている由。)

12:00にセンターに別れを告げて、急ぎ学内の“レストラン plaza”を目指す。お昼は全員同じチキンカレーをいただいたあと、栗原さんからすばらしい差し入れがあり全員感激。(栗原さん、感謝です。)

食事と栗原さん御手製のケーキを楽しんだ後、13:30午後のウォーキングを開始。途中14:00前に、スタート地点の駐車場へ戻り、ここで一旦全員参加のウォーキングを終了し、後は希望者のみ9人で、筑波実験植物園へ向いました。全員65歳以上で、フリーで入園。丁度ラン展が開かれており、各種の見事な出展作品を楽しむことができました。その後は各自自由散策ということで、15時前にウォーキングを終了、解散しました。今日は一日中、ずっと暖かく穏やかな小春日和が続き、快適で、感動の多い1日でした。(文責 矢部・篠原)

